

市の財政状況について ― 市の基金（貯金）と市債（借金）

基金（貯金）および市債（借金）の残高は、令和5年度末で、基金が約71億8,626万円、市債が約59億8,283万円となりました。

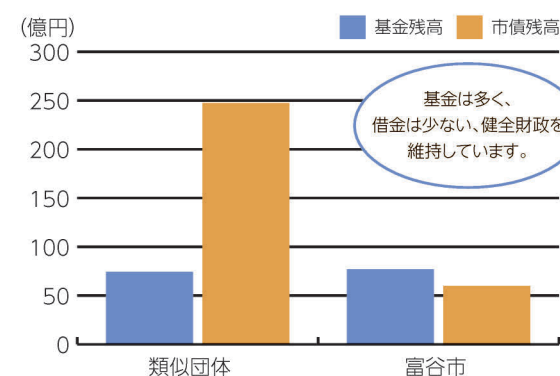
市民1人当たり換算すると、約13万7,000円の貯金、約11万4,000円の借金となり、類似団体平均と比べると、貯金は同水準である一方で、借金は類似団体の約34万4,000円に対し、大幅に低い値となっており、健全財政を維持しています。

なお、基金は、財政調整基金から所要額を取り崩していますが、安定的に推移しており、今後も計画的な運用に努めていきます。

令和7年度市債借入見込額の状況

道路整備事業債は市道の側溝整備や舗装修繕事業などに、図書館等複合施設整備事業債は富谷市複合図書館（ユートミヤ）の建築工事に充てるため、借り入れる予定です。

類似団体との基金と市債残高の比較（令和5年度決算）



市債の目的	借入額
道路整備事業債	1億4,780万円
河川整備事業債	2,000万円
図書館等複合施設整備事業債	9億2,120万円

令和7年度 主な基金の取り崩し見込額の状況

基金名	取崩額・充当額	令和7年度の充当事業
財政調整基金	6億1,310万円	―
長寿社会福祉基金	222万円	社会福祉協議会補助事業
とみやスイーツ基金	144万円	とみやスイーツ活性化事業
ユーミタウン施設整備基金	5億5,195万円	図書館等複合施設整備事業 放課後児童クラブ整備事業
石油貯蔵施設立地対策等交付金基金	2,541万円	消防ポンプ整備事業
土地開発基金	2億7,893万円	総合病院誘致事業
市民図書館基金	408万円	図書館等複合施設整備事業

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て、予算案を編成します。

令和6年	
9月上旬	予算編成方針調整期間 ・ 国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入（収入）額を見込み、必要な情報を収集
9月下旬	令和7年度予算編成方針決定・発表
10月中旬	予算見積書作成 ・ 各部各課において見積書を作成
11月中旬	市長へ各部各課の予算要求内容説明
12月中旬	第一次査定（企画部長・財政課長査定）
12月下旬	第二次査定（副市長査定） ・ 財政課長から副市長に第一次査定結果の提示

令和7年	
1月中旬	第三次査定（市長査定） ・ 市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 ・ 基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・ 令和7年度当初予算案確定（予算書印刷） ・ 最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知
2月下旬	議案審議 ・ 予算書配布 ・ 予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置
3月中旬	予算案の議決
4月	新年度予算執行開始

令和7年度 市の予算と事業

令和7年度の予算概要と主要事業、市の財政状況をお知らせします。

納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

問 財政課 ☎022-358-0619



市公式ホームページ上では予算書を公開しています。

目次

- P 2…令和7年度一般会計予算
- P 5…その他各種会計予算
- P 6…令和7年度に実施する市の事業
- P12…市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「富谷市総合計画 基本構想 2016～2025」

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

基本方針-1
暮らしを自慢できるまち!

基本方針-2
教育と子育て環境を誇るまち!

基本方針-3
元気と温かい心で支えるまち!

基本方針-4
市民の思いを協働でつくるまち!

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



令和7年度 一般会計予算の中身を見てみよう！

どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？

一般会計 当初予算

209億2,000万円

令和6年度：185億8,900万円

概要

令和7年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。2月20日開会の令和7年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月10日～12日）の集中審議を経て、3月14日に原案可決され成立しました。

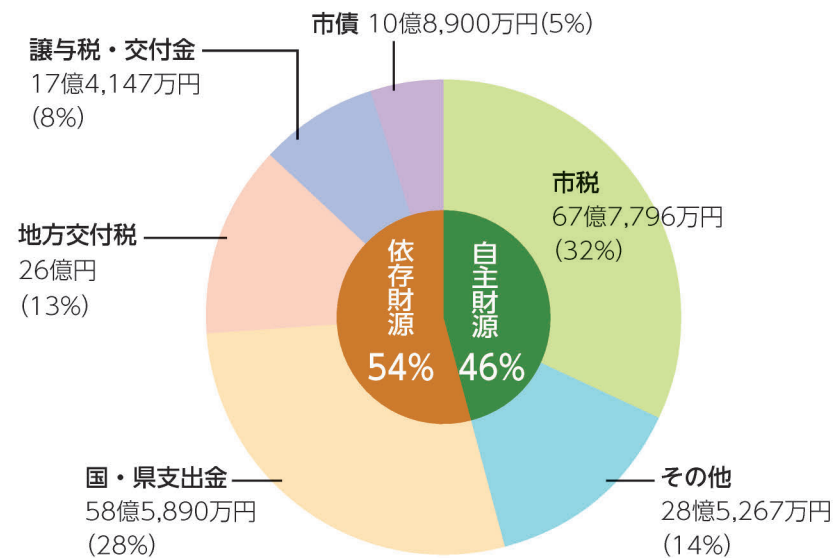
そもそも、予算とは何？

1年（4月から翌年3月）に市へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を決めたものです。予算は、市議会の審議と議決によって成立します。

決定した予算は変更できないのか

国の制度改正や災害などの不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに、市議会の審議と議決によって予算の補正を行うことで変更が可能です。

歳入（収入） このお金はどこからやってくるの？



自主財源 46%

96億3,063万円

市税や使用料など、市が国・県に頼らず、自主的に調達できるお金を自主財源といいます。この財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 54%

112億8,937万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県意思により交付されるお金を依存財源といいます。市債も該当します。

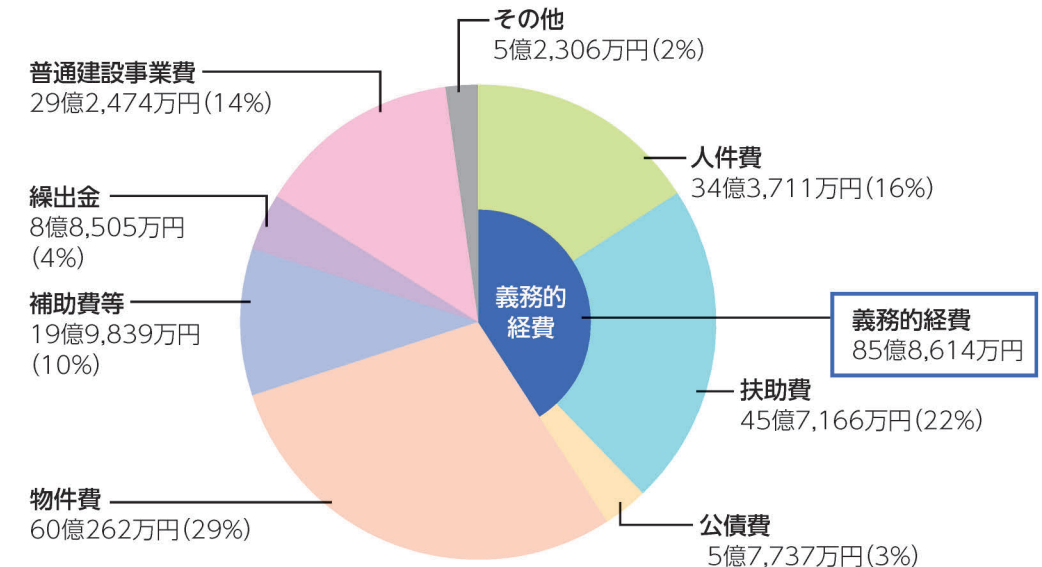
- **市税**
皆さんが、市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- **地方交付税**
全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- **国・県支出金**
国や県が使い道を決めて交付するお金です。
- **市債**
市が銀行等から借り入れるお金です。

予算を一般家庭に見立てると

年間収入	
給料収入（市税）	183万3,483円
パート収入（その他）	83万2,466円
銀行からの借金（市債）	29万4,582円
家族からの援助（地方交付税、国・県支出金）	228万8,190円
貯金取り崩し（繰入金）	41万 279円
収入計※	565万9,000円

※一般会計予算を全国家計構造調査における宮城県の平均年間収入 565万9,000円に合わせたもの。

歳出（支出） このお金は何に使われるの？



令和7年度重点施策

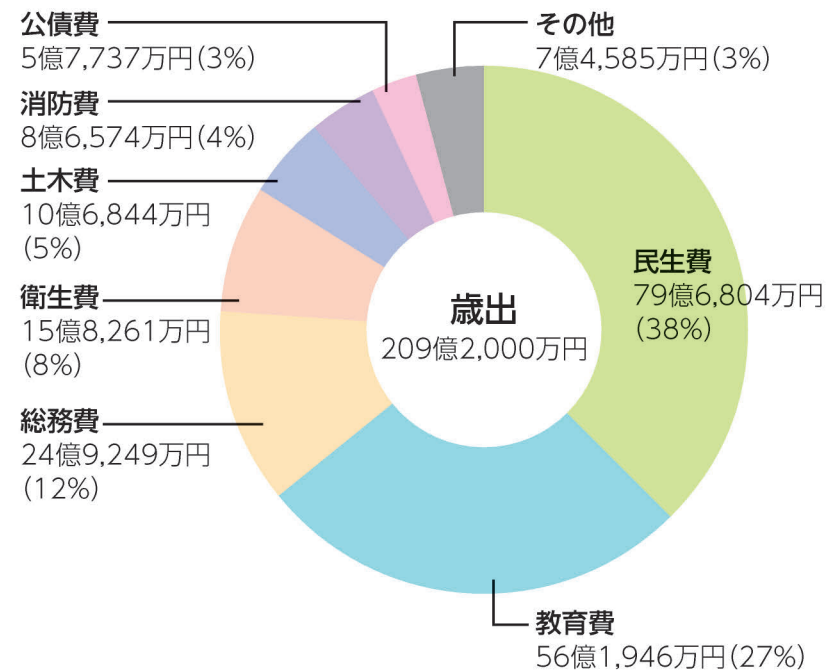
- ① 長期総合計画推進事業（長期総合計画策定業務）
- ② 新公共交通システム推進事業（都市型自走式ロープウェイ導入可能性調査業務）
- ③ 図書館等複合施設整備事業
- ④ 市立小・中学校コンピューター教育事業
- ⑤ 発酵のまちづくり推進事業（全国発酵食品サミット）
- ⑥ こどもの学習・生活支援事業
- ⑦ 養育費確保支援事業
- ⑧ 妊産婦支援事業
- ⑨ こども家庭センター事業
- ⑩ 放課後児童クラブ整備事業（成田小学校児童クラブ増築）
- ⑪ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- ⑫ ゼロカーボンシティ推進事業（小中学校、公民館、庁舎LED化）
- ⑬ 社会科副読本作成事業

- **義務的経費**
人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- **物件費**
委託料、使用料、備品購入費、手数料、需用費、旅費、交際費などの経費です。
- **補助費等**
各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。
- **繰出金**
特別会計等に支出する経費です。
- **普通建設事業費**
公共・公用施設の新増設等に要する経費です。

予算を一般家庭に見立てると

年間支出	
生活費（人件費、物件費、予備費等）	282万5,881円
自宅の増築（修繕）費（普通建設事業費、維持補修費）	89万4,770円
子育て費（仕送り・学費等）（扶助費、補助費等）	177万7,241円
ローン返済（公債費）	15万6,182円
貯金（積立金）	4,926円
支出計※	565万9,000円

お金の使い道 実際に何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小・中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民1人当たりにすると…

民生費

子どもや高齢者、障がい者の福祉などに

151,911円
(149,344円)



教育費

小・中学校、幼稚園など教育のために

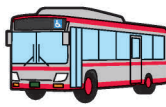
107,135円
(75,333円)



総務費

市民バスの運行や交通安全、防犯のために

47,519円
(40,996円)



衛生費

ごみ処理や病気の予防などに

30,172円
(27,490円)



398,841円
(354,630円)

※令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口52,452人で換算しています。

※（ ）内は昨年度の金額です。

土木費

道路や公園などの整備に

20,370円
(22,422円)



消防費

地域の防災や消防団の活動のために

16,505円
(13,653円)



公債費

借金返済に

11,008円
(11,219円)



その他

産業や議会関連経費などに

14,221円
(14,173円)



その他各種会計の予算

そもそも、特別会計とは何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

下水道事業会計や水道事業会計とは何？

下水道事業会計や水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。公営企業である上下水道事業は、独立採算方式を原則とし、料金収入によって維持しています。



◎ 特別会計の予算

会 計	当初予算額	主な内容
市営墓地特別会計	1,823万円	墓地管理費など
国民健康保険特別会計	41億4,532万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険特別会計	32億5,097万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	5億7,961万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など

◎ 下水道事業会計

会 計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	10億9,632万円
	支出	10億5,580万円
資本的収支	収入	1億3,385万円
	支出	2億 581万円

収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
収入は企業債や建設改良事業に対する国庫補助金などで、支出は流域下水道建設負担金や企業債の元金償還金など

◎ 水道事業会計

会 計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億3,030万円
	支出	10億2,606万円
資本的収支	収入	3億6,215万円
	支出	5億8,724万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は広域水道用水事業所からの受水費や配水池、配水管および給水装置等にかかる費用など
収入は企業債や建設改良事業に対する補償金などで、支出は建設改良事業に要する経費や企業債の元金償還金など

昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると…

区 分	令和7年度予算額	令和6年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	209億2,000万円	185億8,900万円	23億3,100万円
特別会計	79億9,413万円	81億3,537万円	△1億4,124万円
市営墓地特別会計	1,823万円	1億3,194万円	△1億1,371万円
国民健康保険特別会計	41億4,532万円	42億7,415万円	△1億2,883万円
介護保険特別会計	32億5,097万円	31億8,374万円	6,723万円
後期高齢者医療特別会計	5億7,961万円	5億4,554万円	3,407万円
総計	289億1,413万円	267億2,437万円	21億8,976万円

令和7年度一般会計当初予算は、限られた財源を有効活用するため、令和6年度2月補正予算との連動（当初予算事業の前倒し計上）を特に意識した編成を講じていますが、図書館等複合施設整備事業費などの計上により、昨年度から約12.5%の増額となりました。

区分	令和7年度予算額	令和6年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	79億6,804万円	78億2,829万円	1億3,975万円
教育費	56億1,946万円	39億4,883万円	16億7,063万円
総務費	24億9,249万円	21億4,893万円	3億4,356万円
衛生費	15億8,261万円	14億4,098万円	1億4,163万円
土木費	10億6,844万円	11億7,533万円	△1億 689万円
消防費	8億6,574万円	7億1,567万円	1億5,007万円
公債費	5億7,737万円	5億8,809万円	△1,072万円
その他	7億4,585万円	7億4,289万円	296万円

令和7年度に実施する主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

1. 暮らしを自慢できるまち！

(1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

企業誘致事業（産業観光課）……………2,979万円

企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金・用地取得奨励金制度などの交付や宮城県等との連携により、企業の立地および雇用の促進への支援を行い、市の産業振興と雇用創出を図ります。

移住支援事業

（企画政策課、産業観光課、農林振興課）……5,519万円

東京圏から地方へ就業等を伴い移住した方へ移住支援金を支給します。地域おこし協力隊（産業観光課、農林振興課）を採用し、人口減少対策と地域課題の解決を図ります。



富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業（産業観光課）……………3,280万円

TOMI+を拠点に富谷塾や起業プログラムなどの各フェーズに応じた多様なメニューを提供しながら、起業速度を高める伴走型支援や地域課題の解決につながるビジネスを創出します。

富谷市ビジネス交流ベース運営事業

（産業観光課）……………891万円

新たなビジネスの創造としんまち地区の賑わい創出の拠点として、事業者の発展と交流の場を担うシェアオフィスの効果的な運営を進めます。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（446万円）を活用

店舗取得・改修促進事業（産業観光課）……………250万円

地域商業の振興および新たな雇用の創出と商店の活性化を目的として、市内の空き店舗等を利用し、市の活性化や元気づくりに貢献する新規創業者等に対して店舗取得費、改修費や賃貸費の一部を補助します。

(2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

とみやはちみつプロジェクト事業

（農林振興課）……………137万円

市役所庁舎屋上での養蜂・採蜜を継続するとともに、養蜂家育成の支援とみつ源拡大を行います。

生産調整推進事業（農林振興課）……………1,300万円

地域水田農業推進協議会が主体となり、米の生産量の目安を示しながら、生産調整推進事業の補助金を活用し、生産調整に応じ水田の利活用促進のため、転作作物への支援を拡充し、農業所得および経営の安定化を図ります。

※経営所得安定対策推進事業費補助金（138万円）を活用



特産品定着推進事業（農林振興課）……………579万円

新特産果樹定着事業として、シャインマスカット・イチジク・ぼろたん栗・ラズベリーを推奨し、苗木等購入助成により生産拡大を目指します。また、富谷茶復活を目指して富谷茶の在来種から育苗した茶木を栽培する生産者のほ場整備や栽培技術等への支援を行います。

認定農業者育成事業（農林振興課）※拡充……………974万円

新規就農者の経営確立を図る支援および経営発展のために必要な機械・施設導入等の取り組みを支援します。※新規就農者育成総合対策事業費補助金（825万円）を活用

スイーツのまち推進事業（産業観光課）……………199万円

「スイーツのまち とみや」として、夏と秋にスイーツフェアを開催し、とみやスイーツならびに富谷の魅力をPRします。消費拡大を図るとともにスイーツによるシティブランドの確立を目指します。



富谷宿観光交流ステーション運営事業

（産業観光課）……………1,412万円

本市の偉人内ヶ崎作三郎氏の功績を広く市内外にそして後世に伝える記念館を運営するとともに、歴史的な資源や背景を生かした観光交流の拠点として効果的な運営を図ります。なお、管理運営は指定管理者制度により実施します。

発酵のまちづくり推進事業

（産業観光課）※新規……………1,699万円

富谷宿（現：しんまち地区）の産業の成り立ちは、酒造りや味噌・醤油醸造などが中心となっており、発酵の文化が現在にも続いています。その発酵の文化を本市の観光資源としてPRし、観光交流人口拡大と6次化に向けた産業振興につなげていくために、10月11-12日に「第15回全国発酵食品サミットinとみや」をしんまち地区で開催し、本市の発酵文化を資源として「発酵のまちづくり」に取り組んでいきます。

(3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

新公共交通システム推進事業

（企画政策課）※拡充……………370万円

富谷市が目指す交通の将来像の実現に向け「富谷市地域公共交通計画」の施策の一つである、仙台市泉中央駅までの「新たな軸となる基幹公共交通の整備」の取り組みとして、これまで調査を進めてきた地下鉄・BRTに加え、新たに都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査を実施します。

市民バス運営事業（企画政策課）※拡充……6,176万円

民間路線バスと連携し、市内における交通不便地域の解消と公共施設などへの移動手段の確保のため、市民バスを運行します。また、バスの到着時刻や現在地がわかるバスロケーションシステムを導入し、利用者の利便性向上を図ります。

市民バス乗り継ぎ運行事業（企画政策課）……………158万円

泉中央への交通利便性向上を図るため、「イオン富谷店」を拠点とした市民バスと民間路線バスとの「乗り継ぎ運行」を行います。

デマンド型交通運行事業（企画政策課）……………1,373万円

市民バスの代替路線となる新たな交通網として、市内の東部区域・北部区域の交通空白地域を対象としたデマンド型交通の運行を行います。



橋梁維持管理事業（都市整備課）……………1億2,490万円

老朽化した橋梁を修繕し、歩行者や通行車両の安全と快適性を確保するため、長寿命化修繕計画に基づき、新富谷大橋の修繕工事等を実施します。

※道路局所管補助金ほか（5,730万円）を活用

市道維持管理事業（都市整備課）……………2億6,794万円

市道の良好で安全な道路環境を維持するため、除草や街路樹剪定、老朽化した路面舗装等の補修を行います。※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか（760万円）を活用

富ヶ丘地区舗装修繕事業（都市整備課）……………2,000万円

昨年度に引き続き、富ヶ丘地区の市道の舗装修繕を行います。

※緊急自然災害防止対策事業債（2,000万円）を活用

側溝整備事業（都市整備課）……………8,500万円

快適で安全な道路環境を確保するため、富ヶ丘・鷹乃杜・あけの平の側溝を改修します。※緊急自然災害防止対策事業債（8,500万円）を活用



(4) 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

都市計画事業（都市計画課）……………762万円

自然環境とのバランスを図りながら、都市の持続的な発展に資する計画的な土地利用を図るほか、安全で安心なまちづくりを推進するにあたり、大規模盛土造成地第二次スクリーニング簡易地盤調査業務を実施します。

※防災・安全社会資本整備総合交付金（125万円）を活用

市営住宅維持管理事業（都市計画課）※拡充……………1,651万円

市営住宅の良好な居住環境を維持するために、市営湯船沢住宅の屋根・外壁塗装およびフェンスの設置を行うほか、住宅照明LED交換工事を実施します。

※社会資本整備総合交付金ほか（698万円）を活用

一般公園維持管理事業

（都市計画課）※拡充……………1億2,292万円

地域住民のレクリエーション・コミュニケーションの場として公園の機能維持・安全確保・魅力向上を図るため、遊具の点検、修繕、樹木剪定や除草を行います。

大亀山森林公園維持管理事業

（都市計画課）……………2,878万円

豊かな自然との調和を図り、施設の適正な維持管理のため、除草・伐採を行うほか、森の公園活性化実証事業を実施し更なる魅力向上を進めます。



緑づくり事業（農林振興課）……………78万円

野鳥の森散策路等の除草および下刈を実施し、散策路の環境整備を図ります。

2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

市立小学校運営事業

(学校教育課) ※拡充 …………… 1億6,835万円

小学校の運営を行います。水泳学習について猛暑による熱中症リスクを回避するとともに、学校プール施設の老朽化に応じて、段階的に民間に移行し安全安心な水泳学習の環境を提供します。

子育てのための施設等利用給付事業

(教育総務課) …………… 1億3,368万円

幼児教育・保育の無償化に伴う保育料、預かり保育利用費および副食費について給付を行います。
※子育てのための施設等利用給付交付金ほか（9,995万円）を活用

社会科副読本作成事業(学校教育課) ※拡充 ……310万円

学校ICT環境を効果的に活用したポータルサイトの役割も担う新たなデジタル教材を河北新報社との共同開発にて構築し、地域学習の更なる充実を図ります。



教育支援センター運営事業

(学校教育課) …………… 2,516万円

児童・生徒の実情に応じた心サポート機能や学びサポート機能、適応サポート機能等の充実を図り、学校復帰や社会的自立を目指すとともに、不登校特例校西成田教室との連携により、不登校児童生徒の減少を目指します。
※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金（450万円）を活用

市立小学校・中学校コンピュータ教育事業

(学校教育課) ※拡充 …………… 6億689万円

GIGAスクール構想第2期を見据えた小中学校のタブレット等のICT機器の更新やアクセスポイントの増設などの学習環境を整備し、さらなる推進を図ります。
※公立学校情報機器整備事業費補助金（2億1,960万円）を活用

学校給食センター運営・維持管理事業

(学校教育課学校給食センター) …………… 6億5,157万円

市立学校に安全安心な学校給食を提供するため、学校給食センターの運営・維持管理を行います。



(2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

公民館維持管理事業(公民館) ※拡充 …… 1億8,511万円

あけの平公民館大ホール屋根改修、フェンス改修等経年劣化に伴う修繕を実施し、地域住民の生涯学習活動の拠点として適切な維持管理に努めます。

図書館等複合施設整備事業

(生涯学習課) ※拡充 …………… 25億1,376万円

図書館、スイーツステーション、児童屋内遊戯施設を複合化した富谷市複合図書館（ユートミヤ）の令和7年度末完成に向け、建設工事、施工監理等を進めます。
※都市構造再編集支援事業費補助金ほか（24億8,084万円）を活用



スポーツ団体育成・人材育成事業

(生涯学習課) ※拡充 …………… 842万円

従来の団体・人材育成事業のほか、本市の学校部活動の地域展開の推進に向け、子どもたちの「スポーツと芸術・文化活動の出会い」の促進や、「生涯学習の推進と世代間交流・居場所づくり」等の理念のもと、学校部活動の地域展開の受け皿となる地域スポーツクラブ・地域芸術文化クラブの創設を支援するため、新たに補助金を交付します。

(3) 伝統と文化を誇れるまちを創ります

民俗ギャラリー運営・維持管理事業

(生涯学習課) …………… 545万円

民俗、考古、歴史資料等の収集や保存、調査を行い、適切な展示や企画展を通じ、郷土を学ぶ場を提供します。

街道まつり運営事業(産業観光課) …………… 804万円

しんまち地区でのイベントを通し、本市の魅力のPRとふるさと意識の醸成をねらい、市民主体による「オール富谷」でにぎわいを創出します。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（350万円）を活用

(4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

学校給食費無償化(学校教育課) …………… 3億6,213万円

市立学校に在籍する児童生徒の学校給食費の完全無償化を継続します。

放課後児童クラブ整備事業

(子育て支援課) …………… 1億3,017万円

令和7年度増築予定の成田小学校児童クラブの監理業務、工事費や備品購入等を行います。

※子ども・子育て支援施設整備交付金（9,992万円）を活用

放課後児童クラブ運営事業

(子育て支援課) …………… 3億7,450万円

市内8カ所の児童クラブの運営経費。施設の修繕および非常時の通報ボタンの設置を新たに実施します。

※子ども・子育て支援交付金（1億6,629万円）を活用

妊娠婦支援事業

(とみや子育て支援センター) ※拡充 …………… 5,097万円

母子健康手帳交付時より健やかな妊娠、出産、子育てが行えるようサポートプランを作成し、継続した相談支援の実施により援助し、産後うつや虐待予防を目指します。あわせて、妊婦および産婦健診費用の助成やプレママ・プレパパ学級等を開催します。産後ケア事業では、自己負担額を軽減し利用上限数の拡充を図ります。

※子ども・子育て支援交付金ほか（897万円）を活用

子育て支援事業

(とみや子育て支援センター) …………… 2,710万円

子育て支援センターを拠点に、子育て講座や育児相談等のほかイベント等で親子の交流を行います。

また、乳児家庭全戸訪問を行うとともに、新生児聴覚検査に対して、費用の助成を行います。

※重層的支援体制整備事業交付金ほか（984万円）を活用

感染症予防事業

(とみや子育て支援センター) …………… 1億8,896万円

感染症から守るために、HPV、五種混合ワクチンなどの小児定期予防接種および任意予防接種（おたふくかぜ、インフルエンザ）に対する助成を行います。

子ども医療費助成事業

(子育て支援課) …………… 3億1,000万円

0歳から18歳年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療等に係る自己負担額と食事療養費を全額補助します。

※乳幼児医療費助成事業補助金（2,919万円）を活用

幼児教育事業(公民館) …………… 2,796万円

各公民館で幼児学級を開催するほか、プレイルームに保育士を配置し、子育て世代および児童が気軽に安心して利用できる環境を充実させます。

※学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（26万円）を活用



児童手当支給事業

(子育て支援課) ※拡充 …………… 12億9,500万円

所得制限の撤廃、高校生年代まで支給延長、第3子以降の支給額増額を適用し実施します。

※児童手当負担金（11億6,985万円）を活用

ひとり親家庭等自立支援事業

(子育て支援課) ※拡充 …………… 976万円

DVなど困難な問題を抱える女性への相談内容や支援内容が複雑化していることに伴い、女性相談に対応する専門職員を新たに配置します。

※困難な問題を抱える女性支援推進等事業費補助金ほか（558万円）を活用

こどもの学習・生活支援事業

(子育て支援課) ※新規 …………… 357万円

こどもが安心して過ごせる場所として、ひとり親家庭や低所得子育て世帯等のこどもを対象に、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援等を行い、生活の向上を図ります。

※宮城県母子家庭等対策総合支援事業費補助金（178万円）を活用

養育費確保支援事業

(子育て支援課) ※新規 …………… 115万円

離婚に伴う養育費や親子交流等に関し、弁護士による法律相談を実施するほか、公正証書等作成や保証会社との養育費保証契約保証料について助成を行い、ひとり親家庭の生活安定につながる支援を行います。

※母子家庭等対策総合支援事業補助金（57万円）を活用

こども家庭センター事業

(子育て支援課) ※新規 …………… 2,073万円

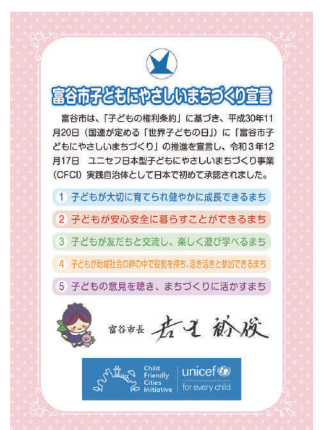
改正児童福祉法により、すべての妊娠婦や子育て世帯およびこどもに対し、母子保健と児童福祉に関する相談や支援を一体的に実施し、切れ目のない包括的・継続的な支援を行うことを目的に福祉に関する相談、情報提供、助言指導等を実施します。

※重層的支援体制整備事業交付金（1,562万円）を活用

子どもにやさしいまちづくり事業

(とみや子育て支援センター) ※新規 …………… 90万円

ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体として、子どもの権利条約の具現化を目指し、全庁横断的な取り組みを推進し、市民や関係機関に対して周知啓発を行います。



3. 元気と温かい心で支えるまち！

(1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

高齢者在宅生活支援事業(高齢者補聴器購入費助成)
(保健福祉総合支援センター) ※拡充……………120万円

聴力が低下している高齢者に対し、日常生活におけるコミュニケーションの促進を図り、積極的な社会参加等の支援を目的に、補聴器購入にかかる費用の一部助成の対象要件を拡大し、実施します。

国民健康保険税の引き下げ
(健康推進課)……………2,260万円

国民健康保険加入全世帯に対する負担軽減を図るため、国民健康保険税率の平等割軽減、子育て世帯に対する負担軽減を図るため、就学児から18歳までのこども均等割独自減免を継続して行います。

健康づくり、食育推進事業
(健康推進課) ※拡充……………595万円

市民の健康維持・増進を図るため、周知啓発や健康講座等を行います。また、食を通して豊かな心とからだを育むため、食育推進事業を実施します。
※健康増進事業等補助金ほか(38万円)を活用



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
(健康推進課) ※拡充……………536万円

高齢者の疾病予防・重症化予防とフレイル予防を促進し、健康寿命の延伸につなげます。

事業圏域の拡大と、フレイル予防事業のさらなる内容拡充を図ります。

※宮城県後期高齢者医療広域連合一体的実施委託料(536万円)を活用



(2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

地域生活支援事業(地域福祉課)……………4,710万円

障がい者(児)等が自立した生活を営むことができるよう地域特性や利用者状況に応じた柔軟な形態により移動支援事業や日常生活用具給付事業等を実施します。

※地域生活支援事業補助金ほか(2,141万円)活用

障害者支援事務(地域福祉課) ※拡充……………1,959万円

第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定に向けた実態把握調査、サービス見込み量推計・分析業務を行うほか、障害福祉システム標準化に伴う改修業務等を実施します。

社会福祉総務事務(長寿福祉課) ※拡充……………1,870万円

第2期地域福祉計画の策定のために必要な地域課題やニーズ等のアンケート調査および分析業務を実施します。
※宮城県市町村振興総合補助金(194万円)を活用

高齢者・障がい者交通対策事業
(長寿福祉課、地域福祉課)……………4,129万円

70歳以上の高齢者および18歳以上の障がい者、60歳以上70歳未満の運転免許証返納者への外出支援乗車証「とみぱす」を交付します。



(3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

生活困窮者自立支援促進事業
(地域福祉課)……………1,389万円

就労準備支援、家計改善支援、居住支援事業等、生活困窮者が自立できるよう包括的な支援を行います。
※生活困窮者就労準備支援事業費等補助金ほか(935万円)を活用

生活保護扶助事業(地域福祉課)……………1億7,042万円

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長するため、生活保護費を支給します。
※生活保護費負担金(1億2,781万円)を活用

重層的支援体制整備事業(長寿福祉課)……………1,730万円

属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施します。

※重層的支援体制整備事業交付金(1,296万円)を活用
地域包括支援センター運営事業

(保健福祉総合支援センター)……………9,473万円

重層的支援体制整備事業の実施に伴い、介護保険特別会計から一般会計へ移行し、市内3圏域における地域包括支援センターの運営などを図ります。

※重層的支援体制整備事業交付金ほか(8,073万円)を活用



4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

災害対策総務事務(防災安全課)……………309万円
災害発生時に安全・安心メールで市民へ正確な情報を迅速に伝達します。

防災啓発事業(防災安全課)……………158万円
各地区の防災訓練時において使用する防災訓練関係用品(炊き出し訓練用アルファ米)等を購入します。

防災用情報通信設備等維持管理事業
(防災安全課)……………899万円

防災行政無線により災害時等における住民への緊急情報等を迅速かつ正確に伝達するため、防災行政無線の維持管理を行います。

消防ポンプ整備事業(防災安全課)……………3,661万円

消防団町下班配備後30年が経過している消防ポンプ自動車の更新を行い、火災に対して機動力の確保とさらなる消防力の強化を図ります。また、消防団町上班配備の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付軽積載車に更新します。

※石油貯蔵施設立地対策等交付金ほか(3,210万円)を活用

交通安全対策総務事務(防災安全課)……………133万円

道路交通法の改正により自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化され、着用の重要性も高まっていることから自転車用のヘルメット購入費の一部助成を行います。



防犯設備整備事業(防災安全課)……………336万円

安心安全なまちづくりのため、昨年度に引き続き、市内各中学校区に1台(計5台)の防犯カメラを設置します。
※宮城県市町村振興総合補助金(100万円)を活用

道路交通安全施設整備事業(都市整備課)……………2,132万円

道路の交通安全を確保するため、道路区画線や路面標示等の整備のほか、道路照明灯、防護柵、カーブミラーなどの交通安全施設の整備と維持管理を行います。



(2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

ゼロカーボンシティ推進事業
(企画政策課) ※拡充……………497万円

富谷市地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所や公民館、小中学校の照明についてLED化に取り組むほか、市民啓発事業を拡充して実施し、ゼロカーボンの実現に向けた取り組みを推進します。
※みやぎ環境交付金(18万円)を活用

一般廃棄物収集運搬処理事業
(清掃センター) ※拡充……………3億7,528万円

生活系一般廃棄物の収集運搬等を委託します。また、委託業務の見直しを行い、内容の拡充を図ります。

一般廃棄物処理(仙台市委託分)事業
(清掃センター)……………1億8,270万円

粗大ごみの破碎・焼却および家庭から出る可燃性ごみの焼却処理に係る仙台市への事務委託経費です。



(3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

市民協働推進事業(市民協働課)……………54万円

とみやわくわくミーティングや市民活動交流会を開催し、市民協働の推進を図ります。

職員研修事業(総務課)……………443万円

「富谷市人材育成基本方針」に基づき、OJTを人材育成の核とした各種取り組みを実施し、職員の資質の向上を図り、効率的・効果的な行政運営を目指します。

長期総合計画推進事業

(企画政策課) ※拡充……………900万円

本市総合計画と国土利用計画、地方創生総合戦略、人口ビジョンが令和7年度で終期を迎えるため、総合計画ほか各種計画の改定作業を進めます。

基幹系システム改修事業
(標準化システム移行業務)(総務課)……………1億9,331万円

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度末までに国が定める標準仕様に適合した情報システム(住基・税務システム等20業務)への移行作業を進めます。

※デジタル基盤進革支援補助金(1億9,331万円)を活用

